

主要施策	健やかで安心な暮らしを支える保健・医療体制の充実
施策の柱	2 母子保健等の保健活動
施策の分類	保健・医療

■ 現状と課題

○子育てと母子健康管理

少子化の進行、核家族化など母子を取り巻く環境が著しく変化している中で、安心して子どもを産み育てられるように、町では妊婦の健康管理のために妊娠届出時保健師による窓口面接を始め、ハイリスク妊婦の家庭訪問また育児負担の軽減や虐待予防のための乳児全数訪問、誕生証書交付時のミニ健康教育、4か月乳児健診や離乳食指導並びに7か月児の健康栄養相談を実施しています。

また、出生届出時に予防接種手帳の配布により、各自が予防接種予診票を記入し指定医療機関での個別接種を受けることができます。

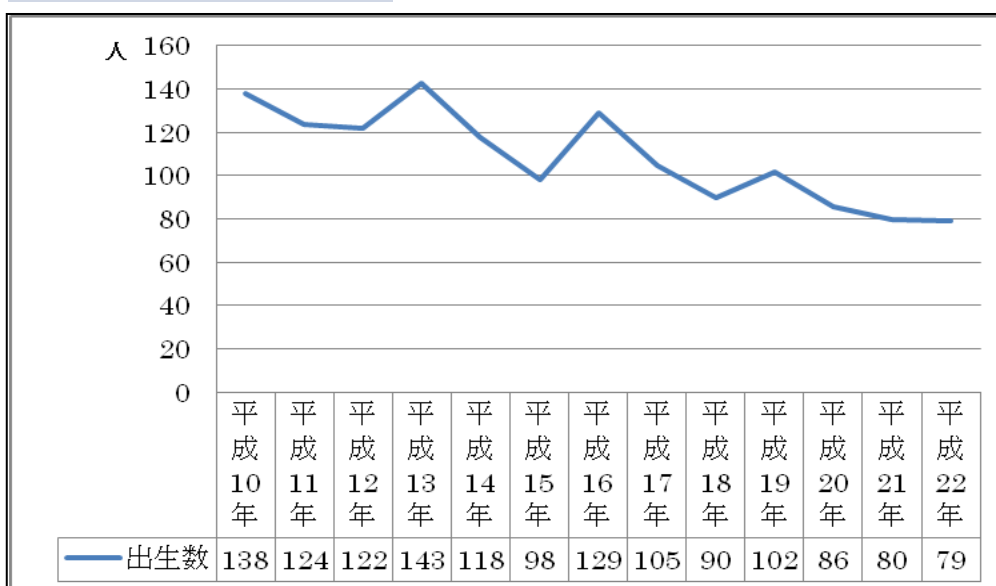
○子育て相談の信頼構築

氾濫する多くの子育て情報の中で、各価値観や感覚にあわせた解釈がされたり、基本的な人間関係の母子愛着関係をうまく築けなかったり、子育てに対する助言にも真摯に向きあえないケースも増えつつあることから、親としての自覚と努力へのサポートや相談をこれまで以上に丁寧に応じて信頼関係の構築を深めることが重要といえます。

○連携による学習・教育

健全な母性・父性を育てるため、教育委員会・学校・PTA・地域と連携し、妊娠・出産・子育てについての学習や健全な性教育を進めることが重要になっています。

2-1 町の出生数の推移



(出典：次世代育成支援後期行動計画)

■ 目指す姿（基本方針）

- 乳児や妊婦のいるすべての家庭を訪問するなど、子育てに対する不安や悩みなどに速やかに対応できる相談体制の充実を図り、安心して楽しく子育てできるまちを目指します。
- 子どもたちが心身ともに健やかに育てられるように、妊婦健診や乳幼児健診、各年齢児健康診査、また予防接種の県内広域化制度の継続などの一層の充実を図るとともに、母子の健康の確保、食育の推進、思春期保健対策や心の健康づくりにも取り組み、母子保健にやさしいまちを目指します。

2-2 母性と乳幼児の健康増進（受診率）		
	20年度実績	26年度目標
乳幼児健診（4か月）	97.8%	100.0%
乳幼児健診（10か月）	98.9%	100.0%
1歳6か月児健診	91.6%	100.0%
1歳6か月児歯科健診	91.6%	100.0%
3歳児健診	94.9%	100.0%
3歳児歯科健診	94.9%	100.0%
7か月児健康相談（H21実績）	90.9%	100.0%
妊産婦訪問指導	全数	全数

（出典：次世代育成支援後期行動計画）

■ 施策の内容

- 離乳食教室の開催、若いママのための調理実習など、健全な母子の健康増進活動（※1）のより一層の充実を図ります。
- 安心して産み育てるための健康づくり（※2）の推進を図ります。
- 平成23年度から「鶴の里子育てガイドブック」の配布で、町の子育てに関する情報を紹介しています。

※1 健全な母子の健康増進活動…主な取り組みとして乳児（4か月児・10か月児）健康診査・7か月児健康相談・1歳6か月児・3歳児健康診査などがあります。

※2 安心して産み育てるための健康づくり…主な取り組みとして妊娠届出時面接、妊婦訪問指導、乳児全数訪問、喫煙予防・虫歯予防指導、子どもの事故予防指導、育児教室などがあります。

担当：健康保険課